



NEWS LETTER

MEIKAI

2022.1 Vol.245

明海大学
編集・発行
企画広報課

Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 西山佑司名誉教授が瑞宝中綬章受章
- 3 第26回日本口腔顔面痛学会総会学術大会で優秀論文賞を受賞
- 4 「第38回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」で中国語学科の学生が優勝
- 5 姉妹校とオンラインミーティング
- 6 教員採用試験結果
- 7 明海スポーツ
- 8 オープンキャンパス開催報告

学長年頭所感

「2022年明海大学の歩む道」

学長 安井利一

2022年壬寅の新年を迎えました。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会、自治体や企業をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。ウイルスの特性でもあります変異によって社会の落ち着きが失われてきた感は否めません。しかし、その中においても東京でのオリンピックとパラリンピックを成功裏に終了することができたことは国民の努力の結晶ということでしょう。本学の一部の学生はボランティアとして稀有な機会に接することができたことも教育機関として嬉しいことでした。創立者宮田慶三郎先生のお言葉「宇宙の



安井利一学長

歴史、地球の歴史、生物の歴史からみれば、人間の一生などほんの一瞬に過ぎない。しかし、その一瞬がなければ歴史にならないわけであるから、その一瞬は歴史の重みの中で重要な重みをもっている」は、「建学の精神」とともに常に私たち明海大学関係者の心の支えであると思います。このように激しく移り行く社会の中で、課題を発見し、その最善解を得ることのできる「生きる力」は、まさに「建学の精神」そのものと思ひ、本年も、教職員の総力で教育・研究・臨床・社会貢献へ大学の力を高揚させていきたいと思ひます。

2022年4月からの新年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況を的確に判断しながら、教育の充実を図っていききたいと思ひます。また、学校法人が準備して下さったクラウド型教育支援システムを最大限有効に利用して、事前事後の主体的学修をも支援する、いわゆる「反転流の授業展開」をめざしていききたいと思ひます。本年も、本学のステークホルダーの皆様にご満足いただけるような「教育の質保証」を確立する所存です。

浦安キャンパスにおいては、今年、ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）にデジタル・イノベ

ーションメジャー（DXM）を新設し、教育を開始いたします。明海大学浦安キャンパスの初年次教育には「学修の基礎」の中で、浦安の5学部7学科の1年生が一緒になって学ぶ科目に「データサイエンス」がありますが、さらにSociety5.0やSDGsを踏まえた教育の一環として、今後の我が国の社会を創出する人材を育成する取り組みを始めるところです。HT学部のメジャーとして設置しておりますが、社会全体を見据えた教育課程になっておりますのでご理解をいただければ幸いです。経済学部は履修モデル制になって初めての年を迎え、そして保健医療学部口腔保健学科は完成年度を迎えます。不動産学部は宅地建物取引士のほか、現役で不動産鑑定士や土地家屋調査士を輩出するなど教育の成果を出しております。外国語学部も、日本語学科では、日本語を母語としない方達への日本語教育の重要性への対応、中国語学科は中国との一層の学生や教員の人材交流、そして英米語学科での多言語コミュニケーションセンターとの連携など新しい取り組みが目白押しになっています。最後に、歯学部においては、ディプロマポリシーを確実にするためのカリキュラム改革（2面へ続く）

や入学試験改革を続行しつつも、学生に寄り添った温かい教育を実践して参りたいと思っております。また、地域医療に貢献しております歯学部附属明海大学病院や埼玉、東京、浦安の各PDIも新しい設備を揃えながら安心安全な医療の提供を一層めざしてまいります。大学院歯学研究科も

新しい制度での運用が開始され、優れた基礎研究と臨床研究を実行し、総合的な研究組織である「明海大学歯科医学総合研究所 (M-RIO)」との有機的な関係構築で歯科医学界への貢献をめざします。

歯学部、外国語学部、経済学部、不動産学部、HT学部、保健医療学部の

6学部8学科そして4研究科のますますの発展を教職員全員と力を合わせて実現する所存です。加えて体育会においても学生の自己実現を図るような指導体制を組みたいと思えます。

本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。

西山佑司名誉教授が瑞宝中綬章受章

令和3年秋の叙勲で、西山佑司名誉教授が瑞宝中綬章を受章した。瑞宝中綬章は、公務などに長年にわた



西山名誉教授(左)と安井学長

り従事し、功績を挙げた者に対し日本国政府から授与される勲章で、西山名誉教授は永年にわたる教育研究

功労による受章となった。西山名誉教授は、1965年に慶應義塾大学を卒業の後、アメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) でPh.Dを取得。その後、2006年4月に外国語学部教授として本学に着任後、大学院応用言語学研究科教授を兼任するとともに外国語学部

英米語学科主任や副学長を歴任。在任中とはとりわけ大学院の発展に大いに寄与された。現在の社会状況を鑑み、文部科学省主催による今年度の勲章伝達式が中止になったことを受け、12月21日に浦安キャンパスで開催された伝達式では、安井利一学長から西山名誉教授へ勲記と勲章が手渡された。西山名誉教授は受章の喜びを「身に余る栄誉をいただき、大変名誉なことに思う。これもひとえに宮田淳理事長をはじめとする、明海大学の皆様のおかげです。これからも精進して参ります」と話した。

第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会で最優秀発表賞を受賞

10月9日、10日に行われた第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会で、安藤慎之介先生（歯学研究科3年・歯科麻酔学分野）と河野亮子先生（歯学研究科3年・歯科麻酔学分野）が最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）を受賞した。この賞は優れた研究発表を行った研究者および研究発表に贈られる賞で、安藤先生と河野先生は研究の独創性や学術的意義が評価され、受賞に至った。安藤先生

は、昨年に続き2年連続で最優秀発表賞を受賞し、これは学会史上初の快挙となる。

安藤先生は「ご指導いただいている先生方、研究にご協力いただいている共同研究者の方々に2年連続の受賞という最高の形で恩返しができ、大変嬉しく思います」と喜びを語った。また、河野先生からは「このたびは栄えある賞をいただき、大変感

動しております。この賞は私個人の力でなく、ご指導いただきました先生方のお陰であると実感しております」と喜びの声が聞かれた。



安藤先生(左)と河野先生

<受賞対象>

『超高感度スマート圧電振動センサ(AYA-P)で得られる上気道閉塞呼吸パターンのAI解析』

- 安藤慎之介、高木沙央理、河野亮子、原田達也、高橋敏克、大野由夏、前田祐佳、讃岐純平、弘中哲夫、石黒 隆、小長谷 光（明海大学歯学部 病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野）

『Offset analgesiaとpain catastrophizing scaleは口腔外科術後の罹患期間を予測する』

- 河野亮子、大野由夏、安藤慎之介、高木沙央理、長谷川彰彦、長坂 浩、小長谷 光（明海大学歯学部 病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野）

第26回日本口腔顔面痛学会総会学術大会で優秀論文賞を受賞

11月20日、21日に行われた「第26回日本口腔顔面痛学会総会学術大会」で、歯学部の大野由夏准教授（歯科麻酔学分野）が令和3年度日本口腔顔面痛学会優秀論文賞を受



大野由夏准教授

賞した。この賞の目的は、日本口腔顔面痛学会雑誌に掲載された論文のうち優秀論文を表彰することにある。大野准教授の論文は冷温刺激と圧刺激を用いた新たな内因性疼痛調節機構測定装置の開発という独創性と、その将来的な有用性が評価され、受賞に至った。

大野准教授からは今回の受賞について「ご指導いただいた小長谷教授、医局員の先生方のおかげで大変名誉ある賞をいただくことができ、感謝しております。大変光栄です」と喜びの声が聞かれた。

<受賞対象>

『冷温刺激および圧刺激をもちいた内因性疼痛調節機構測定装置の開発』

○大野由夏, 河野亮子, 安藤慎之介, 高木沙央理, 小長谷 光
(明海大学歯学部 病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野)
日本口腔顔面痛学会雑誌2021; 13巻1号, Page117-127.

ホワイトコート セレモニー開催

保健医療学部口腔保健学科3期生である1年生を対象とした「ホワイトコートセレモニー（白衣授与式）」を10月14日に浦安キャンパスで開催した。ホワイトコートセレモニーとは学生に白衣を授与することによって医療に携わる自覚を促す式典で、保健医療学部では開設以来毎年行っている。3回目の実施となった今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教員と在学生のみで執り行い、会場に足を運ぶことができない保護者の方々にはオンラインによるライブ配信を行った。

セレモニーでは、初めに学長告辞として安井利一学長から「学歌の一節に『尊厳と愛を胸深く抱く人』という歌詞があるが、医療人こそまさにそんな人であってほしい。この言葉を胸に刻み、今日の日をスタートとしてがんばってください。人生の新

医療人としての自覚と責任を

たな船出を教職員一同心から応援します」との言葉が贈られた。

続いて、学部長式辞として藤内祝学部長からは「白衣に袖を通す瞬間から医療の一端を担う人になる誓いを込めていただきたい。その誓いを4年間忘れずにがんばってください」と激励の言葉があった。

その後、代表の学生2人が登壇し、金久弥生学科主任から受け取った白衣に袖を通した。白衣は保健医療学部口腔保健学科オリジナルデザインで、左胸ポケットにはギリシャ神話に登場する名医アスクレーピオス（Aesculapius）が持つ杖をモチーフとした保健医療学部のエンブレムをあしらひ、右袖には学生氏名の刺繍が施されている。

学生を代表して宣誓を行っ

た山下莉央さんからは「知識と技術を磨き、仲間とともに成長し、医療人としての自覚と責任を持った歯科衛生士をめざします」との力強い言葉があり、医療人としての第一歩を踏み出したことへの期待に胸を膨らませている様子が見えられた。



白衣に袖を通す保健医療学部生

「第38回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」で中国語学科の学生が優勝

昨年10月31日、千葉市民会館で第38回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会が開催され、「スピーチの部」大学生・大学院生の部で出地佑希さん(中国語学科4年)が千葉県知事賞を受賞して優勝した。これにより、出地さんは1月の全国大会への出場が決まった。また、「朗読の部」大学生・大学院生の部では、細川詩織さん(中国語学科2年)が銚子市長賞を受賞した。千葉県大会は、全国大会での入賞者を多数輩出しているハイレベルな大会で、スピーチ部門の優勝は本学初の快挙。出地さんは「2年ぶり3度目の挑戦となる千葉県大会で悲願の優勝を果たすことができ嬉しいです。スピーチ原稿の構想から質疑応答の練習まで、熱心にご指導してくださった先生方、また当日



細川さん(左)と出地さん

応援に駆けつけてくださった先生方や友人にも感謝の気持ちでいっぱいです。1月9日に控えている全国大会では、悔いが残らず、有終の美を飾れるよう、一生懸命取り組みたいと思います」と語り、細川さんは「外部

のスピーチコンテストに参加するのは初めてで緊張しましたが、学校以外で発表するのは貴重な機会だったので思い切って参加してよかったです。来年も参加して、出地先輩に続いて優勝したいです」と感想を述べた。

全国青年 弁論大会

日本語学科の学生が3位入賞

11月14日、愛知県一宮市の修文大学で「第66回文部科学大臣杯全国青年弁論大会」が開催され、本学からは尾高楓さん(日本語学科3年)と浦野遥風さん(日本語学科3年)が出場した。日本弁論連盟主催の本大会は66

年の歴史を誇る、弁論界では最古の伝統ある大会。全国各地の中学校3年から40歳までの弁士が一堂に集う大会で、今年度は37人の弁士が登壇した。

尾高さんと浦野さんは、教職課程

センター・地域学校教育センターの木内和夫教授の指導を受け、予選を勝ち抜き今回の本選出場となった。当日は練習の成果を存分に発揮し、尾高さんは「デイズニー映画『ズートピア』から学んだこと」の演題で3位(愛知県教育委員会賞)入賞、浦野さんは「縄文の心、現

代の心」の演題で7位(奨励賞)入賞となった。

尾高さんは「訴えたいことや経験などを7分間でまとめるなど内容の点では苦勞したが、高校生の頃演劇部に所属し、地域のミュージカルや舞台などに出演した経験を活かして当日は表現することができた。まさかこのような賞をいただけるとは思ってなかったので驚いたが、この経験を就職活動に役立てたい」と喜びを語った。また、浦野さんは「弁論を通じ、他者の価値観や物事の見方、感じ方を知ることができた。『世代を超えた意見交流』ができる機会はとても貴重なので、今大会に出場できたことはとてもいい経験になった」と感想を述べた。



浦野さん(左)と尾高さん(右)

歯学部
海外研修

姉妹校とオンラインミーティング

メキシコ州立自治大学

歯学部では世界有数の大学との相互交流協定を結び、諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができる「国際的な歯科医師を育成する環境」の拡充に注力してきた。新型コロナウイ



画面越しにあいさつする学生たち

ルス感染症の影響で昨年度から対面での交流が行えない状況のなか、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の「さくらサイエンスプログラム」の支援もあり、昨年に続いて今年度も姉妹校とのオンラインでの交流が実現。

10月27日、本学と朝日大学の歯学部生および国際交流委員の教職員らとメキシコ州立自治大学（以下、UAEM）とのオンラインミーティングが行われた。冒頭、UAEM歯学部長に新たに就任したDra. Leticia Robles Bermeoから本学創立50周年



UAEMの教員と学生記念への祝辞があり、各大学教員による特別講義が行われた。学生らは互いに自作のスライドを共有して自己紹介を行うなど、カメラの向こうのUAEMの学生らとの14時間の時差を超えた交流を楽しんだ。

北京大学口腔医学院

12月7日、本学と朝日大学の歯学部生および国際交流委員の教職員が、北京大学口腔医学院の教員、学生らとオンライン交流を実施した。

画面越しに参加者全員で集合写真を撮影した後、和やかな雰囲気で開催。各々の大学の紹介や学生による自己紹介のほか、北京大学口腔医学院および本学国際交流委員の安達一

典教授による特別講義が行われた。特に、学生らによる自己紹介コーナーではオリジナルのスライドを共有



自己紹介の様子

し、互いの興味関心、将来の夢、家族やかわいいペットの写真を披露するなど、大いに盛り上がりを見せた。

新型コロナウイルスの感染拡大により、海外派遣や海外協定校からの研修生の受け入れが難しく、学生同士の活発な交流が行えないなか、2時間に渡るオンラインによる交流のなかで、互いに親睦を深め、新型コロナウイルス終息後の再会を約束し、ミーティングを終えた。

あけみ英語村

明海大学の教職課程センターでは、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2021～小学生異文化交流プロジェクト～」を主催している。小学生に英語教育と異文化交流の機会を提供すると



オンラインで小学生と交流

ともに、本学の教職課程を履修している学生にとっては、教育の現場を体験することで、より深く教育について学ぶきっかけとなっている。

10月6日に足立区立興本小学校、10月21日に足立区立足立入谷小学校を対象にオンラインで開催した。興本小学校からは5年生約70人、足立入谷小学校からは5年生約30人が参加し、本学の外国人留学生と英語を使ったコミュニケーションや異文化交流を楽しんだ。

英語コミュニケーションは、本学の Patrizia Hayashi 教授と Tyson Rode 准教授が担当し、大型スクリー

ンに映された絵を英語で説明するクイズを出題した。音楽に乗せながらリズムカルにクイズが出題されると、小学生も緊張が解けた様子で笑顔がみられた。

足立区とはこれまでも本学外国人留学生と小・中学生との交流会を継続的に開催し、生徒たちの英語学習に対する興味関心が高まるとともに、異文化理解が深まるなど、高い教育成果を上げてきた。

明海大学は、今後も足立区と連携したさまざまな取り組みを通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献していく。

**教員採用
試験結果**

令和3年度教員採用試験に9人が合格!

令和3年度教員採用試験に、本学の学生および卒業生9人が合格した。

本学では、1990年から外国語学部では中学校および高等学校の国語、英語、中国語の教員免許状を取得することができる教職課程を設置して教員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした取り組みをさらに推進するため、2016年に「教職課程センター」

を設置し、免許状の取得に必要な教職課程の履修、教育実習、教員採用試験、赴任後に求められる授業実践力など、教職に関するさまざまな課題をトータルにサポートしている。センターの設置から6年、新型コロナウイルスの影響で授業が制限されるなか、少人数での指導やきめ細かい個別対応を続けたことが結実した。

東京都教員採用試験の中学校・高

等学校（英語）に合格した江川有紗さん（英米語学科4年）は「教育実習を終えてより一層教職への希望が強くなったため、合格という文字を見た時はとても嬉しかった。これからも多くの人に信頼される教員になれるよう精進していきたい」と、喜びと意気込みを語った。

明海大学は、今後も優秀な教員を世に送るための努力を続けていく。

第34回明海祭

浦安キャンパス学園祭「明海祭」が10月30日、10月31日の2日間にわたり一部大学での実施とオンラインで開催された。今回のテーマ「Be the BEST!! ～ココロに刻む1ページ～」には、“コロナ禍でも明海祭を通じて思い出の1ページを創ってもらいたい、今までと違った学園祭を創り上げたい”という思いが込められている。

オンラインでは、昨年引き続きYouTubeで「明海祭YouTubeチャンネル」を立ち上げ、各種のイベントが

配信された。そのなかで、今年も千葉のFMラジオ局bayfmの人気番組『あしたの音楽』とのコラボレーション企画として、当ラジオ番組のパーソナリティーでソングライタープロデ

ューサーのShusuiさんとシンガーソングライターの曾根由希江さんによるライブ配信と番組収録が行われた。明海祭を終えて、学園祭実行委員長の池澤純音さん（経済学科3年）は「ハイブリッド学園祭という初めての試みで

したが、無事に対面とオンライン両方で開催ができて良かった。明海祭を通じて、たくさんの人に支えられていることを改めて感じる事ができた」と話した。



学園祭実行委員会

第51回けやき祭

11月6日、坂戸キャンパスで「第51回けやき祭(学園祭)」が開催された。

今年は、新型コロナウイルス感染の拡大状況および来場される方々の



学生と教員のみで実施

健康と安全を第一に考え、一般公開はせず、本学学生と教職員のみで開催された。今回のテーマは「-WA-」として、主に1、2年生を対象とした部活・同好会紹介、学食、大学周辺の食事処紹介やビンゴ大会などのイベ



部活・同好会紹介の様子

ントが行われ、多くの学生で会場は賑わった。

けやき祭実行委員長の宮澤真由さん（歯学科4年）は、「分散登校が続くなか、久々に会う先輩後輩や、初めてけやき祭に参加した1、2年生の楽しそうな姿を目にし、テーマである「-WA-」に込めた「学生間の『輪』の構築」の大切さを再確認することができた。今回、先輩方から受け継いだ伝統を絶やすことなく開催できたことを嬉しく思うと同時に、来年以降さらに良いけやき祭が開催されることを心から願っている」と話した。

明海スポーツ

MEIKAI
SPORTS

強い明海へ！

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会ヨット部

第86回全日本学生ヨット選手権大会で総合7位、スナイプ級が6位入賞!

11月4日から7日にかけて、愛知県蒲郡市で第86回全日本学生ヨット選手権大会(以下、全日本)が開催され、本学体育会ヨット部は総合7位(470級13位、スナイプ級6位入賞)の好成績を収めた。1日目と2日目は3レースずつ行われ、上位を狙える順位につけていたが、3日目と4日目の最終日ともに風が安定せず、レースを行うことができなかったため、総合7位で全日本の幕が閉じられた。同大会では12年連続で両艇の出場、スナイプ級では2014年の全日本以来の入賞となった。國府田由隆監督は、「選手たちはベストを尽くしてくれた。両艇が安定した結果を出すためには、よりハードな練習をしなければこの壁は越えられない」と語った。



体育会ヨット部

体育会女子バレーボール部

2022年度関東大学バレーボールリーグ5部昇格決定!

12月4日から12日にかけて行われた「2021年度関東大学バレーボール秋季リーグ」女子6部Bでは、1セットも落とすことなく、全2試合ストレートで勝利を収めた。迎えた順位決定戦では、同リーグ女子6部Aで首位となった東京立正短期大学と対戦。ここでも強さを発揮してストレートで勝利し、2022年度関東大学バレーボールリーグ5部昇格を決めた。キャプテンの花井雅選手(日本語学科3年)は、「コロナの影響で公式戦が少ないなか、モチベーションを維持していくことが大変だった。関東大学バレーボールリーグも1年半ぶりに開催され、そこで結果を出せたことは嬉しい。来年は4部、そして3部へと昇格をめざして準備していきたい」と意気込みを語った。



体育会女子バレーボール部

体育会サッカー部

日本サッカー協会から『感謝表彰』を受賞!

9月10日に設立100周年を迎えた公益財団法人日本サッカー協会が実施する「日本サッカー協会100周年表彰」の「感謝表彰」を受賞した。

本表彰は長年にわたり日本サッカーの発展に多大なる貢献をした個人

や団体に贈られるもので、本学は「各地域での活動を含めて日本サッカー界に多大なる助成や支援、協力をいただいた団体」としての受賞となった。引き続き、本学は日本サッカーの発展に貢献していく。



オープンキャンパス開催報告

浦安キャンパス

10月24日、浦安キャンパスで今年最後のオープンキャンパスが開催された。

受験生のための対策講座を重点に置き、AO入試対策講座、指定校推薦対策講座を実施した。入試直前とあって、真剣な表情で耳を傾け熱心にメモを取る参加者の姿が見られた。



学部の説明をする学生スタッフ

また、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあって、今まで中止していたキャンパスツアーが復活。在学生と直接話をしながら学内施設を見学できる機会とあって、多くの参加があった。今年度のオープンキャンパスはウィズコロナを模索しながら、限定された状況でプログラムを実施してきたが、そのなかでも本学の施設や在学生との交流など、高校生のニーズを今まで以上に意識する機会となった。

坂戸キャンパス

坂戸キャンパスでは、10月9日、12月5日にオープンキャンパスが開催された。12月5日には、一般選抜対策

講座を実施。河合塾の講師が赤本を使用し、一般選抜の必須科目である英語と選択科目の数学をわかりやすく解説した。

これをもって歯学部のオープンキャンパスは今年全日程が終了したが、参加できなかった高校生のために公式ホームページで各種プログラムの動画を公開し、オンライン相談を受け付けている。



対策講座の様子

2022年度入学試験日程一覧

浦安キャンパス 外国語学部／経済学部／不動産学部／ホスピタリティ・ツーリズム学部／保健医療学部

入試区分名		出願期間		試験日	合格発表日
一般選抜	統一試験		1月5日(水)～1月18日(火)	2月1日(火)	2月10日(木)
	A日程	全学科		2月2日(水)	
				2月3日(木)	
	B日程	全学科	2月7日(月)～2月17日(木)	3月1日(火)	3月9日(水)
			3月2日(水)		
大学入学共通テスト利用選抜	A日程	1月5日(水)～1月18日(火)	1月15日(土)・16日(日) (大学入学共通テスト)	2月10日(木)	
	B日程	2月7日(月)～2月17日(木)		3月9日(水)	
	C日程	2月22日(火)～3月8日(火)		3月18日(金)	

※ホスピタリティ・ツーリズム学部グローバル・マネジメントメジャーおよび保健医療学部口腔保健学科の大学入学共通テスト利用選抜は、別途面接があります。
[面接日：A日程 2/3(木)、B日程 3/2(水)、C日程 3/17(木)]

坂戸キャンパス 歯学部

入試区分名		出願期間		試験日	合格発表日
一般選抜	A日程	1月8日(土)～1月19日(水)	1月25日(火)	1月31日(月)	
	B日程	2月7日(月)～2月22日(火)	2月27日(日)	3月3日(木)	
一般選抜 (共通テストプラス方式)	A日程	1月8日(土)～1月19日(水)	1月25日(火)	2月10日(木)	
	B日程	2月7日(月)～2月22日(火)	2月27日(日)	3月3日(木)	
大学入学共通テスト 利用選抜	A日程	1月8日(土)～1月19日(水)	1月15日(土)・16日(日) (大学入学共通テスト) 1月25日(火) (面接試験)	2月10日(木)	
	B日程	2月7日(月)～2月22日(火)	1月15日(土)・16日(日) (大学入学共通テスト) 2月27日(日) (面接試験)	3月3日(木)	
	C日程	3月1日(火)～3月10日(木)	1月15日(土)・16日(日) (大学入学共通テスト) 3月16日(水) (面接試験)	3月24日(木)	

詳細は必ず入学者選抜試験要項をご確認ください。資料請求は本学公式HPから。 <https://www.meikai.ac.jp>

